

【取組内容①】 全員で取り組んだ「内容」と「学び方」の振り返り

自己調整力育成のための「学んだ内容」と「学び方」の振り返り

「自分で学ぶ」ためには、自らの学びをメタ認知によりよい学びへと自己調整していくことが重要である。そこで、3年生以上にGoogleスプレッドシートで作成した同じ振り返りシートを使用し、「学んだ内容」と「学び方」の両方での振り返りを行うこととした。共同編集やタイピングが得意ではない低学年はGoogleフォームで選択式の振り返りを行った。使用していくうちに各学級で工夫し、それぞれの個性が出るようになっていった。



学んだ内容

学び方

課題に対するまとめとそこへ到達するために学んだこと。

初めの考えから、対話を通して考えの変容したことを自覚している。

私は、筆者の考えは、アップとルーズを選んだり組み合わせたりすることが大切だと思う。理由は、⑧と③に同じ考えがあって、思いやりのデザインは、②と⑤に同じ考えがあるしそれが筆者の考えだったから、私は、そこが筆者の考えとおもいました。

私は、筆者の考えは、アップとルーズを組み合わせたり選んだりすることが大事。

アップとルーズには伝えられることと伝えられないことがあるからアップとルーズを選んだり組み合わせたりすることが大切だと伝えたかったと思います。

筆者の考えは、アップとルーズを選んだり、組み合わせたりすることが大切というのを伝えたいと思います。

発表のときに私は、最後の文で決めつけていたけれどみんなの考えを聞いて、自分の意見が変わって、もっとよりわかりやすい意見が出てきていいと思いました。はんで話すのもいいけれど自分から「どう？」と意見を言えてクラスの中も深まったと思いました。

情報収集のやり方が有効だったか、誰と対話するのが有効だったかを振り返っている。

情報収集は教科書に前に線などを書いてあったからすぐできごうのいおりさんとやってほぐが説明したことをごういごとたよねを言うてれたからうまくまとめられたから良かった

教科書にペンで線を書いたり思いやりのデザインを見てやったりみんなの意見を聞いてやった

(学校評価)学んだことや学び方を振り返っている

	7月	11月
児童	91%	92%
教職員	76%	96%



20%UP